

・ < 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	姫路医療生活協同組合	事業所名	看護小規模多機能すずかぜ
所在地	(〒 670-0802) 兵庫県姫路市砥堀 630		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

「住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができるよう医療と介護の両面をサポートします」を理念とし、医療依存度の高い利用者様が安心して在宅で生活できるよう「通い」「泊り」「訪問看護」「訪問介護」を柔軟に組み合わせ主治医と連携し体調管理・医療的ケアを行っています
利用者様の状況（体調、背景）により看護師、介護職、セラピストの多職種によるアセスメントの結果を話し合い、ケアマネジャーが中心となり一人一人のケアプランを作成し支援を行っています
また、地域との連携（地域包括支援センター・交流館）により地域に根差す事業所を目指し、地域住民の相談窓口として気軽に来所いただけるよう事業所新聞を近隣地域に配布し関係性づくりに努めています

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 12 月 12 日	従業者等自己評価 実施人数	(17) 人 ※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 26 日	出席人数（合計）	(9) 人 ※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☒ 自事業所職員 (3 人) ☐ 市町村職員 (人) ☒ 地域包括支援センター職員 (2 人) ☒ 地域住民の代表者 (2 人)		

	☐ 利用者（ ____人） ☒ 利用者の家族（ <u> 1 </u> 人） ☒ 知見を有する者（ <u> 1 </u> 人） ☐ その他（ ____人）
--	--

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 (評価項目 1～10)		各職員への研修参加を促す	オンライン・集合研修への参加	オンライン・集合研修への参加はできているが全員ではなく今後も声掛け必要
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	継続	多職種連携・情報共有・在宅に向けての家族支援・アドバイス、緊急時の対応	対応できている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	独居の利用者に対して連絡を取り合い、地域住民の方々との連携・情報共有する場を設ける	民生委員の方との連携（電話連絡・対面） 運営推進会議での事例検討	独居利用者に対しては連携とれている 運営推進会議での事例検討ができた
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域説明会等を通して啓発活動を行うと同時に地域における課題や改善策、事業所ができる事について提案する場をもつ。自治会活動の把握、案内チラシの作成（行事・健康づくり等）	民生委員の会議に参加して看護小規模多機能についての説明会を行った 近隣の方への事業所便りの配布、自治介活動（清掃）への参加	自治会と協働しての避難訓練に参加出来たらよかった
Ⅲ．結果評価 (評価項目 42～44)		利用者ごとの計画目標を全職員で共有、達成に向けて支援する	ミーティング・部会・ケースカンファレンスでの支援内容の共有	1人1人の計画目標については不十分

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 (評価項目 1～10)		今年度は法人で新人育成プログラムが作成され、チェックリストに進むことができおり着実に介護技術を身に付けている。 トレーナー（指導者）が毎日勤務ではないため指導の一貫性に欠ける部分がある。中堅職員の育成が課題となっている	法人として、中堅職員の育成について検討中、決められたものを使用して実施していく
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	概ね出来ている。	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	退院時カンファレンスへの参加は確実にできている。病医院・居宅介護支援事業所との連携を図る 利用者の状況を医療的視点・生活支援の観点からアセスメントし、リハビリ・管理栄養士との連携強化を進める	継続していく
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	運営推進会議内容を職員全体での共有、職員も参加している 地域住民向けの啓蒙活動継続 独居利用者の民生委員・自治会との連携を継続	地域の行事に参加していく 地域包括との連携を更に強化し地域包括システムの深化に向け具体的な協働を図る（地域サロン等での情報発信・事業所を拠点とした住民向けサロンの開催）
Ⅲ．結果評価 (評価項目 42～44)		主治医・看多機職員・管理栄養士との連携で自宅・事業所利用時の支援についての共通認識をもつことができている 運営推進会議で地域との連携を図っている 呼吸器使用の利用者は災害時の対応も含め保健師とも情報共有できている	多職種連携の継続 運営推進会議での事例検討等地域住民との協働・病医院・居宅介護支援事業所との連携で地域の受け皿となる

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	4	9	1		① ～⑤のどの部分が弱いのか把握し対応する。 介護者同士の繋がりや集いの場になれば地域から活用されるのではないかな	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	11				✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	11	2	1	全員受講できていなくても共有できていれば良いが、個人目標が明確だったら良い	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 年間研修計画は実施できているが、個人の研修は全員が受講することはできていない 新入職員犬種・介護職（正職）の教育体制は整っており確実に育成できている					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	7	8	1		大切な研修に参加することが大切	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 法人内研修において対象者は参加できている 各研修案内を提示し希望を募り参加できているが全職員参加には至らない 特定行為研修（喀痰吸引・栄養剤注入）は2名参加出来た 認知症介護研修は3名受講できた					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	7	11				✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	14			地域行事を案内した所、積極的な参加があり主催者である連合自治会も喜んでおられた	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	4	12	1			✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
〔具体的な状況・取組内容〕 重度の利用者が多く（平均介護度 4.0～4.1で推移）移乗の際の職員負担が強くスライドボードを導入し負担軽減を図る事ができている（抱えない介護） 法人の週休二日制の導入により休日の確保が出来ている 日々の人員体制についても職員の意見も尊重し人員配置できている							
（４）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	6	10				✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
〔具体的な状況・取組内容〕 申し送り・部会での共有 ICT の利活用は医療職はできているが介護職は不十分な面があり今後も課題となる							
（５）安全管理の徹底							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	7	11	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 医療安全委員会を運営しインシデントレポートに寄る振り返り・事故発生防止に取り組んでいる 送迎ハイリスクの利用者には2人体制での送迎を実践している スライドボードを導入し安全は異常が自宅のできるよう取り組んでいる		全職員の意見が反映される様に取り組む。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	7	9	1	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> BCPに基づき避難訓練・災害用備蓄を唱えている。また利用者の災害対応を書面で作成、独居の方には地域の民生委員と協力し避難場所の確認を行っている 医療依存度の高い利用者(人工呼吸器使用)については保健師を中心とした会議で共有、非常用電源の確保も行っている	地域の防災訓練に参加できるよう取り組むこと 地域との繋がりをもち事業所を見学してもらい緊急時対策を共有すること	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	7	8		1	全くできていない職員に対しての指導が必要 全職員で同じ対応ができるように	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	7	9	1		常に情報共有できるよう取り組む 介護職が安心して業務に当たれるよう取り組むこと	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	4	10		1	全くできていない職員に対しての対応を確実にし、全職員が同じような対応ができること	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		【具体的な状況・取組内容】 モニタリングや担当者会議にて利用者・家族の思いを確認、その思いを叶えることができるよう計画作成している 職員も一人一人の利用者のアセスメントに基づき気づいたことを書面で作成し情報提供することで計画作成に協力できている					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	4	9		1		✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		【具体的な状況・取組内容】 居宅サービス計画・訪問看護計画書により作成できている セラピストとのカンファレンス内容・介護職からの意見も反映できている					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	2	11		1	看護職による予後予測などを踏まえての計画を作成しておいた方が良いのではないかな。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護にお
		【具体的な状況・取組内容】 主治医との連携・看護師勤務により利用者の状況を随時把握した計画作成ができ、リスクマネジメントも反映されてい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		る					いては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	4	13				✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看護・介護ともに状況変化をアセスメントした際にはお互いに報告し合っている 週 1 回のカンファレンスにより、対象利用者のことについて検討し全職員に共有・計画に反映できている					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	4	9	3		継続的に状況変化を把握仕切れていない職員には、原因を明確にし、全職員対応できるよう取り組む	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 送迎時・ヘルパー介入時に生活環境についての確認もできている 変化があれば速やかに共有・サービス内容の検討を行っている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	4	9	1			✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 訪問診療・受診前の報告を行う他、随時情報共有し連携を図っている					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	7	9				✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者の体調等を確認した上でアセスメントし必要な内容を共有し関わっている 介護・看護の視点から気づきをその場で共有できている					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行わ	9	6				✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 各勤務での申し送り・週 1 回のカンファレンスで共有している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	れている	また、常に気づいたことに対しての相談・情報共有ができています					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復などの 観点から、情報提供や提案 等を行っている	7	9		1		✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
[具体的な状況・取組内容] 利用者一人一人の普段との違いを介護職が発信することもあり、その理由について看護師から開設することで共有できている 自立支援のためのケアについても多職種で共有し関わっている							
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	5	10				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 利用相談・契約の際に説明している モニタリングにてサービス内容の確認ができています							
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅	5	8	1	1		✓ 「利用者等の理解」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> サービス利用表の交付の際に説明・同意を得ている 送迎・ヘルパー・訪看介入時に確認し随時報告、必要時にサービス調整ができています				できていない職員は何ができないのか確認する 経験不足なら経験を積む用に取り組む	足度を評価します
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	7			あまり出来ていないと評価した職員は何が出来ていないのだろうか？	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	7	8	1	1	できていないと感じている職員のフォローを行っていくこと	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> サービス計画作成時・契約時に利用者・家族の意向について確認しカルテに残し全職員共有している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	6	8		1	本人の体調と家族の想いを考えての対応は難しいか？ 対応方法を共有しておこう	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 在宅生活を置こうル中で介護状況を把握した上でケアマネとも共有している 必要に応じ家族とも相談できている							
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	6	8		1		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
[具体的な状況・取組内容] 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」に基づき 看取りのパンフレットを用いてつ伝達し いつでも相談できる体制を整えている							
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	4	9	1	2	できていない職員にはよく分かった職員との連携で指導を受ける	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報
[具体的な状況・取組内容] 退院前カンファレンスにより情報共有・退院後の生活についてサービス内容を含む情報共有を行っている							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	6	6	1	3		✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 予測不能な状態において事前指示をもらい、看護師判断の上対応している 訪問診療前の報告・診療同行により情報共有を行っている					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	7	8		2		✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 各利用者の主治医との情報共有を行い、緊急時の対応についても随時相談できている					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支	3	6	2	1	事業・法人にとらわれずエリア内の他職種との連携を目的とした研修・交流会に出席しておられ、エリア内の包括・	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 独居の利用者については民生委員や自治会役員と情報共有している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	援センター・市区町村職員等 への情報提供や提案が行わ れている	認知症利用者の場合；、近隣クリニック・ 警察とも連携して対応している 民生委員の会議にも参加し困りごとがな いか伺うこともあった 運営推進会議で事例検討しアドバイスをも らうこともあった				保健センター・自治会との顔 なじみの関係ができるように している 人件センターとの連携も始ま っており今後のとり組みが期 待される	討・支援を行っていくなどの取組」 の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがな い場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録につい て、誰でも見ることができる ような方法での情報発信が、 迅速に行われている	5	11				✓ 「誰でも見ることができる方法で の情報発信」と「迅速な情報発信」 の2つの視点から、充足度を評価 します
		[具体的な状況・取組内容] 会議報告を回覧して全職員に周知してい る					
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等について、 正しい理解を広めるため、地 域住民向けの積極的な啓発 活動が行われている	5	6	2	2	今後も地域課題を共有し、必 要な情報が地域住民に届く よう連携していきたい	✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地 域説明会の実施」などの取組が考 えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的と した活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] 近隣住民宛に事業所便りを発行し事業内 容（対象者・支援内容・医療ケアの内容） について明確にし、いつでも相談・見学 できる体制を整えていることを公表して いる					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	12	3				✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	5	3	2	4		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 非侵襲的人工呼吸器使用の場合は積極 的に受け入れているが、侵襲的人工呼吸器に 関しては届け出していないため受け入れで きず					
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	9	6				✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 在宅看取り・施設での看取りどちらも積極 的に受け入れている 看取り支援についても介護・看護で協働、 訪問看護とも連携し支援できている					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシス テムの構築方針や計画の内容 等について理解している	3	7	3		地域課題の共有をテーマ とした情報交換会に出席さ れ、意見交換や今後の連携に ついて検討ができた	✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解すること
		[具体的な状況・取組内容] 研修参加等により理解した上で運営して いる 今年度は姫路市の実地指導も受け問題な					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		いことを確認している					が必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針 や計画などがない場合は、「全くで きていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアにつ いて、特定の集合住宅等に限定 せず、地域に対して積極的に にサービスを提供している	8	4		2	全くできていないと思っ ている職員の考えについて確 認してみる	✓ 「特定の集合住宅等に限定しな い、地域への積極的な展開」につ いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、 特定の集合住宅等に限定すること なく、地域全体の在宅療養を支え る核として機能していくことが期 待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象とし ている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている	1	4	3	5	地域課題の共有をテーマに した情報交換会に参加され、 意見交換や今後の連携につ いて検討ができた	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取 組」について、その充足度を評価 します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやインフ ォーマルサービスの開発・活用等、 利用者等のみでなく地域における

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	3	6	2	3	看多機利用前のサービス事業所・病医院との関係を密にとること SNS の発信も有効 仕組みを知ることです「望めば自宅で最期を迎えることができる」と思える住民は少なく無いと考える。多様な集まりの場において事業所のとり組みについて情報発信して欲しいと考える 地域包括がマッチングの助けとなるよう連携していきたい	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看取りについては100%達成できている 自立支援を視野に入れ武井かくについては概ね達成されているが、利用者の状態変化により見直しを行うこともある		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	① 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 安心できているとの言葉を頂戴することがある。また、全職員在宅生活が安心・安全であるようアセスメントし多職種で検討・実	継続して欲しい	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		践している		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看護師が中心となり今後の病状予測等についてわかりやすく職員・利用者家族との共有に努め「その人らしく」最期まで過ごせるよう努めている 生活面は介護職からの提案に基づき全職員協働することで些細なことでも利用者の立場に立ち検討することができている 看取りのパンフレットを用い細かな情報提供と24時間365日緊急時対応の体制が整っていることで安心感に繋がっている	継続していく	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」

